

4月	5月	6月	7月	8月	9月
----	----	----	----	----	----

**【私たちは地球の上に立っている with あきた地球環境会議】**  
 1 3 14  
 あきた地球環境会議が行っている活動の話の聞いたり、役割カードを基に地球の現状について考えたりしながら、身近な生活や社会の中に学習課題があることに気付く。

**【SDGs ワークショップ I】**  
 4 12  
 朝日SDGsジャーナルによる新聞記事を読み、友達と意見を交流する活動を通して、SDGsの視点から私たちの生活について考える。

**【フィリピン JICA 青年 団との交流】**  
 12 14 15  
 17

**【アルミ缶・古紙回収活動】**  
 12 15 16  
 角間川・藤木地区のアルミ缶や古紙を回収する活動を通して、地域の方々と交流しながらリサイクルについて考える。

**【親水公園クリーンアップ】**  
 12 15 16  
 親水公園のクリーンアップを行う活動を通して、地域の方々と交流しながら環境保全について考える。

**【国際教養大学訪問】** 12 14  
 ◇国際教養大学を訪問し、交流する活動を通して、世界の人々と理解し合うことの喜びや大切さ、必要性を理解する。  
 ・秋田県にも、他の国の人たちが多く学んでいる大学があるんだな。他の国の皆さんと交流することは思ったより楽しいことだな。  
 ・他の国の学生の皆さんは、なぜ日本の大学で学んでいるのだろう？  
 ・文化が異なる人たちが理解し合うためには、どんな考え方や行動が必要だろうか？

**【SDGsを踏まえた商品開発プロジェクト with 奥真由美氏(Sail On Japan)】**  
 3 5 8 11 12 15 16  
 □高校生が運営するジェラート店(Stella)訪問  
 ・高校生で商品開発や製造・販売までしているなんてすごいなあ。  
 ・商品を開発するまでの過程をもっと知りたい。  
 □SDGsの視点で地域と連携した商品開発、製造、販売。  
 ・地域にあるお店とコラボできないかな。  
 ・地域でつくられた野菜などを活用できないか。  
 ・販売までたどり着くには、色々なことを考えなければいけないんだな。  
 ・たくさん売るためにはどんな工夫をしたらいいだろう。  
 ・利益を得るのは大変だな。

**【社会】** 3 12  
 「これからの経済と社会」環境の保全、社会保障の充実などについて、国、自治体、企業、消費者が果たす役割を考察することができる。

**【総合的な学習 オリエンテーション】** 1 2  
 ◇SDGs全般について理解するとともに、17の目標のつながりについて考える。  
 ・1年生の時には、有機野菜の栽培をしたり、食品ロスについて調べたりして考えをまとめたなあ。  
 ◇疑問や願いから、課題を設定する。

**課題設定1**  
 SDGsって何だろう？  
 SDGsの達成のために私たちには何が出来るだろう？

**課題設定2**  
 「世界を知ろう」～国際教養大学の学生との交流～  
 誰一人取り残さない社会をつくるために、今私たちができることは？

**課題設定2**  
 「世界を知ろう」～国際教養大学の学生との交流～  
 誰一人取り残さない社会をつくるために、今私たちができることは？

**課題追究2**  
 「SDGsを踏まえた商品開発プロジェクト」～SDGsの視点で地域と連携した商品を開発しよう～

**【道徳】** 12 13 14  
 「変わりゆく地球」持続可能な社会の実現

**【理科】** 7 9 12  
 「化学変化と電池」  
 ダニエル電池がどのようなしくみで電気エネルギーを取り出しているか調べ、身の回りの電池がどんな目的で使われているか考えることができる。

**【社会】** 3 4 5  
 「人権と共生社会」  
 人間の尊重についての考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義を理解することができる。

**【国語】** 3 11  
 「報道文を比較して読もう」  
 報道文を比較して読み、必要な情報を取捨選択したり、自分の考えを明確にもったりすることができる。

**【家庭】** 2 6 10 16  
 「家庭生活と地域との関わり」  
 地域の幼児や高齢者などの自分と異なる立場の人々と共に協力・協働することの大切さを理解することができる。

# 第3学年ESDストーリーマップ「国際交流とSDGs起業」(2)

<学習テーマ> SDGsの達成のために・・・

10月	11月	12月	1月	2月	3月
-----	-----	-----	----	----	----

**【南中祭・発表】**  
5 6 15  
南中祭での総合的な学習の時間の中間発表会を通して、地域の方々に、SDGsの視点から共に考えていきたいことについて発信する。

**【SDGsワークショップI】**  
4 12  
朝日SDGsジャーナルによる新聞記事を読み、友達と意見を交流する活動を通して、SDGsの視点から私たちの生活について考える。

**【英語】** 14 15  
“Animals on the Red List”  
世界の絶滅の恐れのある動物について知り、自分たちにできることを考えることができる。

**【道徳】** 11 12 13  
「サルも人も愛した写真家」  
自然との共存

**課題追究2**  
「SDGsを踏まえた商品開発プロジェクト」  
～SDGsの視点で地域と連携した商品を開発しよう～

**課題設定3**  
気候変動の影響を最も受けるキリバスについて日本の私たちの課題は何だろうか？中学生の私たちに、何ができるのか？

**課題追究3**  
「キリバス交流プロジェクト」  
～キリバスの中学生との交流を通して、気候変動をグローバルに考えよう～

まとめ・振り返り・発信  
新たな課題の出現

**【まとめ・振り返り・発信】**  
5 6 7 8 9 10 15 16  
◇「国際交流・SDGs企業」の視点から、持続可能な社会の実現に向けて何ができるか考えることを通して、これまでの学習を振り返る。  
・SDGsを達成するために、私たちにはこんなことができそうだ。  
・身近なことからすぐに実践していきたい。  
・学んだことを地域の方々に積極的に発信していきたい。  
◇これまで学習してきた内容や行動のよさを実感する。  
・1年間の活動を通して、友達や地域内外の方々と共に学びを深め、実践できた。  
・今後も地域や国、世界のためにできることを実践していきたい。

**【英語】** 11  
“Be Prepared and Work Together”  
防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持ち、標識が何を意味しているかを説明することができる。

**【社会】** 1 2 7 13  
「さまざまな国際問題」  
地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために、経済的、技術的な協力が大切であることを理解することができる。

**【キリバスの中学生との交流プロジェクト withケンタロ・オノ氏】**  
3 4 12 13 14 15  
◇キリバスの中学生とのオンライン交流を通して、相互に理解を深め、課題解決に向けて実際にどんな行動をすることができるのか意見交換を行い、グローバルに考えローカルに行動する意義を理解する。  
・私たちのことをよく知ってもらい、仲良くなりたいな。キリバスの中学生はどんな生活をしているのだろう？困っていることは何か？  
・キリバスと日本の私たち中学生は、課題を解決するために、未来に向けてどんな行動ができるだろうか？

**【国語】** 7 13  
「温かいスープ」  
国際社会における人と人との関係について、考えることができる。

**【英語】** 11  
“A Legacy for Peace”  
ガンディーの功績を知り、平和や人権の大切さを考えることができる。

**【理科】** 10 11 14 15  
「生物の多様性と進化」  
進化と生物の多様性にどのような関係があるか調べることができる。

**【理科】** 7 9 11 12  
「エネルギーと仕事」  
エネルギーの様々な形態を知り、エネルギー変換とエネルギーの総量の関係を考えることができる。

**【英語】** 14  
“Beyond Borders”  
国を越えて助け合う大切さを知り、自分に何ができるのかを考えることができる。

①～⑯：育成を目指す主な資質・能力

